

移動のたのしさ

シーズンに成ると移動運用局が多く成ります。出かける局は様々です。アウトドア間隔で手軽に移動する局から、本格的にDX狙いの局、HF帯での海外DX、VHF、6mでの海外や国内DX、144mhzでは国内DX、うまく行けばEスポ狙い、430Mhzなら、国内DXの記録狙い、これも上手くタイミングが合えばダクト狙い。1200、2400と言った高い周波数もDX記録狙いですね、DXを狙って移動される局は、さすが大型のアンテナで本格的な設備で出かけます。

UHFや高い周波数で移動される局は高い山へ、そして、ロケーションの良い所と苦勞されています。必ずしも、完全な設備で、って事では有りません。チョット時間が出来たから裏山へ行って来る、なんて小さなアンテナでって事も、意外にEスポやダクトにめぐり合わせ、とんでもないDXが出来た、なんて事も有るんです。

地方局に頼まれて、JCCやJCGのサービスに出かけたら、ダクトが発生してサービスどころでは無かった、なんて事も大有りです。移動は車に付けたモバイル用のアンテナでも、同様、出る物が出ればモバイルホイップでDXが出来た局も有り大型のアンテナで無ければダメとは限りません。

又、フィールドコンテストなんて野外運用でのコンテストや、アワードなんかも有り、これだけで、出掛ける局も有ります。しかし、アマチュア局の減少も有り、時代も変わり、移動運用も高速代、燃料代と言った経費もバカには成りません。仲間と組んで、割り勘って手も有ります。声が掛からなく成ると宴会が始まり、持ち寄った焼き肉、ビール、酒、と言った楽しみも有ります。

では、常に移動する局はどんな設備で出かけて居るのでしょうか？ HF帯で運用する局は、ワイヤーアンテナが多い様です、さすが、八木アンテナを組むと言った局は少ない様です。50Mhz帯での運用局は、GPアンテナ、又は2エレ～3エレ程度の小型八木アンテナが多い様です。同じVHF帯でも、144Mhz帯での移動、局はGPアンテナが大半で、中にはDXer局は、八木アンテナで、設備は様々です。

スタックから、本格的には固定設備並み、又は、固定設備以上のアンテナを現地で組んでいます、こう言っただけでベテランはアンテナを組むのも、色んなアイデアを取り入れ、組み立てるのも短時間で組めるようにして居ます。

UHF帯でも、同じ事が言えます。じゃ、アンテナを組むのに、どのようなアイデアが有るのでしょうか？例えば、車の屋根上には小型のタワーが備え付けで、倒してあるタワーを起こすだけです。そのタワーには、マストに成るパイプを差し込みスタックを組みますが、面倒なUボルトで締めるようなクランプ類は使わず、建築現場等で使われている足場パイプ用のクランプです。小さなワッシャーやナット類は締める時間も掛かりますが、足場用のクランプで直交を使えば、ラチェットスパナー一つで締める事が出来、尚角度は確実に90度で組めるので、スタックの右側が上がっただの、下がっただのは無いでしょう。もっと、すごいのは、マストパイプを丸パイプでは無く、角パイプを使って、スタックブームパイプも角パイプを使うことで、角パイプ同志ですから、必ず90度の直角に成り、先ほどより確実に組むことが出来ます。

更にすごいのは、マストのパイプが角パイプなので角パイプに合った大きさを棒を組み、エレベーター式にして居る局も有ります、こんな局は、現地でアンテナを組むのに要する時間は、4枚のスタック2段で、30分、8枚の4パラ2段で40分程度の驚きです。最初からこう言う設備では有りませんが、度々、移動する事で、不便さが発見出来、その都度改良を繰り返す事で、こう言っただけで設備に成ります。

最初は移動しているOMさんに一緒に連れて行って貰って、見学するのも勉強に成ります。連れて行って貰えば後は褒めまくります。「いや～、これ良いな～、スゲ～な、便利だな、良いアイデアだな～」なんて褒めまくれば、OMさんも悪い気はしないし、こう言っただけでOMさんは、他にも同じような物も持って居るから、貰える事も有るし、教えて頂ける。(最初は無理かもネ) 2, 3度お付き合いすれば、その内、余り物を頂ける。

最低アドバイスは頂けるでしょう。設備は徐々に揃えて行きましょう、さア～貴局も今日から移動Manの仲間入り、一度出かけて、思わぬ遠い局とコンタクト出来ればDXerの仲間です。

今回移動についてどんなものか、ほんのさわり程度ですが、又の機会に移動の経験談でも書いて見ましようかネ。